

オリジナルMY図鑑を作ろう！～葉っぱ編～

■プログラムの概要

ねらい	校庭の樹木の葉の図鑑作りを通して、身近な自然への興味を喚起するとともに自然に親しむ楽しさを味わう。		
キーワード	身近な自然		
対象	小学生全学年		
時間	60分	実施場所	校庭及び教室
使用するもの	A：版画式（絵の具をつけた葉を画用紙に押し付けて形をとる。） 図鑑作り用画用紙、水彩絵具、ウレタンスポンジ、ヤレ紙（絵の具をつける時の下敷き用） B：フロッターシュ式（葉の上に敷いた紙を色鉛筆でこすって形をとる。） 図鑑作り用上質紙、色鉛筆 C：スタンプ式（スタンプ用インクやカラー朱肉などで色を付けて葉の形をとる。） 図鑑作り用画用紙、スタンプ用インクやカラー朱肉などのスタンプ台 ABC 共通：のり、製本テープ（ビニールテープや折り紙などでも可）。 （集められない児童がいることを想定し、葉っぱをある程度用意しておく。） （校庭の落ち葉が少量の時は、別の場所で集めた葉などで補う方法もある。）		
全体の流れ	- 導入 事前に作成した見本を見せて、今日の活動について説明する。 - 製本 紙を6～8ページ程度の本に仕立てる。Bの場合はフロッターシュする際に葉っぱを挟める折り方で作るとよい。 - 落ち葉集め 校庭で、落ちている葉っぱだけ集める。 （予め指導者が採集しておくという方法もある。） 拾った葉っぱの場所や選んだ理由などエピソードをメモさせておくのもよい。 - 図鑑作り A.版画の方法で葉っぱに絵の具をつけ、画用紙などに葉っぱの版画を作る。 B.紙の下の葉っぱが動かないように抑えて、色鉛筆でこする。 C.版画の方法で葉っぱにインクなどをつけ画用紙などに葉っぱの版画を作る。 できた版画に製本テープで背表紙を付けて完成。 - ふりかえりと片付け 完成したマイ図鑑を見せあう。「マイ図鑑自慢大会！」などを行う。時間がなければ感想を発表し合うだけでもよい。		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<導入> ・事前に作成した見本を見せて、今日の活動について説明する。 ・校庭にある樹木でできることを知らせる。 ・葉っぱは、いろいろな形をしていることに気づかせる。	・何をするのか、明確に伝える。 ・どこにどんな木があるかを、葉っぱの実物を見せながらヒントを与えることで活動を活発にさせることができる。 ・校庭での注意事項を確認する。 (各校での事情に則して) ・全体の活動時間を伝える。
10分	<製本> ・図鑑用の紙を6～8ページの本にする。 ○A や C (版画式・スタンプ式) の場合 事前に見開きサイズに切っておいた紙同士を糊で張り合わせていく。 ○B (フロッタージュ式) の場合 フロッタージュする際に葉っぱを挟めるように、葉っぱを挟める折り方でつくる。 (うまく作れない児童は、重ねてホチキス留めするだけでもよい。)	・本の作り方については、様々な方法があるので児童の実態に合わせて行う。 ・製本作業は学年の大きい児童にお手伝いしてもらおうと楽しい雰囲気になる。 ・場合によっては、指導者が手伝うなどして時間内に完成させる。
15分	<落ち葉集め> ・散策しながら自分の好きな葉っぱを集めてくる。 ・落ちていた葉っぱだけ拾わせる。 (拾った葉っぱの場所や選んだ理由などのエピソードをメモさせておくのもよい。 葉っぱの名前はわかる範囲でよいこととする。)	・参加人数が多いときは、グループ分けする。 ・花壇の葉っぱは集めない。 ・葉っぱは、予め指導者が採集しておくという方法もある。 ・拾う枚数は問わないが、低学年などには数を示すアドバイスをしてあげるとよい。例えば、「6ページの図鑑なら6枚は拾うとよい」など。
20分	<図鑑作り> ○A (版画式) の場合 絵の具は水で溶かずに葉っぱに塗り付ける。画用紙に押し付け版画のように形をとる。 ○B (フロッタージュ式) の場合 紙の下の葉っぱが動かないように抑えて、色鉛筆でこする。 ○C (スタンプ式) の場合 ・スタンプ台に葉っぱ全体を押し付けてインクを付ける。画用紙に押し付け版画のように形をとる。	・絵の具の量が多すぎたり、水で薄めすぎたりすると葉脈の線が出なくなる。 葉脈の出方や絵の具の濃さは絵の具の種類によるので予め試しておくとうい。 ・絵の具やインクで服を汚さないように注意。袖は捲らせておく。 ・版画式 A/C の場合、絵の具が移らないようページの間にヤレ紙を挟んでいく。 ・児童それぞれの状況に応じて、各ページに拾った場所や木の特徴、選んだ理由、分かる範囲で名前など、エピソードを書くようにアドバイスをする。

時間	学習内容	指導上の留意点
	- 表紙を書いたり、各ページにエピソードを書いたりして図鑑を仕上げる。 (低学年などには表紙を用意しておく。) - できた版画に製本テープなどで背表紙を付けて完成。	振り返りを行うことで、葉っぱや校庭の自然への気づきを促し、自然に対する感性を育む。
5分	<ふりかえり> - 完成したマイ図鑑を見せあったり感想を発表したりする。 「マイ図鑑自慢大会！」などを行うと「そんな形もあったのか」「それどこにあった？」など葉っぱへの興味を深めさせられる。	- 見せたい！という思いがわくように児童の発表に指導者も共感を示すようにする。 - 葉っぱの色々な形や校庭の色々な樹木の種類に気づかせたい。また、友達の思いを聞き自分の図鑑の良さにも気づかせたい。
5分	<片付け> 絵の具の付いた葉っぱは指導者のところに集める。	- 葉っぱをゴミにしない。バケツなどに入れて集める。後で洗って土に返すことを伝える。 - 紙屑などのごみは別の袋を用意しておき、葉っぱとは分けて捨てる。

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
水彩絵の具	グループ数	版画式 A の場合。 一色を数人で使えるように色ごとの皿なども用意。
スタンプ台	グループ数	版画式 C の場合。スタンプインクやカラー朱肉など
ウレタンスポンジ	必要数	版画式 A の場合。色別に使えるよう小さく（3cm四方位）切っておく。
画用紙	1 人一枚	版画式 A/C の場合。
色鉛筆	グループ数	フロッターシュ式の場合。
上質紙	1 人一枚	フロッターシュ式の場合。紙の厚さは薄いもの。
のり	必要数	
ステーブラー（ホチキス）	必要数	
製本テープ	必要数	図鑑の背表紙。ビニールテープ・折り紙でも可。色が複数あればなおよい。
画用紙 吸い取り用紙 ヤレ紙	必要数	版画式 A/C の場合。余分な絵の具やインクを吸い取るために使用。 または絵の具やインクをつける時の下敷き用。
バケツか洗面器	グループ数	版画式 A/C の場合。使い終わった葉っぱを入れる。

■実施にあたって留意する点

- 学校の花壇など栽培している植物には触れない、沢山とっていかないからと葉っぱを捨てたりしない、取ったものは使うなど植物への配慮をきちんと伝える。
- 絵の具の付いた葉っぱはゴミ箱に捨てさせない。指導者が土に返すことを伝える。樹木の葉は土の中で養分になることを伝える。時間があれば児童と一緒に作業したい。ごみの分別への意識を喚起したい。
- 季節によっては、危険な昆虫などへの注意喚起をする。事前に指導者が情報収集や点検を行う。
- 希望する児童がいれば保存版などの形で教室に展示したり、本棚に入れたりして、活動後も興味が続くことを狙いたい。
- 教室の掲示物の装飾として児童の葉っぱ版画を使うという方法も興味の継続発展に役立つ。
- 自然に対する感性を育むために、活動の終わりには、短時間でもよいので、感想を発表するなどの振り返りを行うことが大事である。
- 児童それぞれの状況に応じて、各ページに、拾った場所や木の特徴、選んだ理由など分かる範囲でエピソードを書く活動をできるだけ取り入れ、葉っぱや校庭の自然への気づきを促していくようにする。